

2019年12月6日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス マ レ ジ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 山 本 博 士  
(コード番号：4431 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 田 川 良 行  
TEL. 06-7777-2405

## 「スマレジ」のプラットフォーム化に向けて アプリ開発パートナー募集開始のお知らせ

### スマレジ 4.0 で広がるビジネスチャンス

当社は、スマレジのプラットフォーム化に向けて、スマレジ 4.0 アプリ開発者募集サイトを公開いたしました。スマレジと連携利用できるアプリケーションの開発および販売を行う、開発パートナーの募集を開始いたします。



スマレジ 4.0 アプリ開発者募集サイト：<https://smaregi.jp/developers/>

スマレジ 4.0 (アプリマーケット) の開始によって、スマレジと外部サービスとの自動データ連携を促進し、お店のあらゆる業務の効率化を実現します。また、スマレジと API 連携するアプリケーションを提供する事業者や開発者は、全国の 2 万を超えるアクティブ店舗に向けて、アプリを公開し訴求することが可能になります。

スマレジ 4.0 は、2020 年夏頃に公開予定です。

## スマレジ・プラットフォーム

日々変化する小売店や飲食店のニーズに答えるために、開発パートナーが参加できるプラットフォームを構築します。POSレジにとどまらず、eコマースや発券機などの販売データをスマレジの販売データ(POSデータ)と結合できるようにAPIを拡充します。



## 全国2万店舗のアクティブユーザー

毎月1,000店舗以上が追加利用され、アクティブ店舗数\*は2万店舗以上。開発パートナーは2万店舗を超える全国のユーザーに向けて、アプリをリリースすることが可能です。

アクティブ店舗数\* = 当月の取引が存在する店舗の数

## 幅広い業種へのアプローチ

スマレジを利用するあらゆる地域・業種・規模のPOSデータがスマレジサーバーに集約されています。スマレジに蓄積されているPOSデータは、さまざまなシステムと繋げることで、多くの付加価値を生み出す可能性があります。

2019年、スマレジの累積取引金額は2兆円を突破し、日々膨大な量のPOSデータを処理しています。今後はネットショップやBtoB取引、自動販売機や発券機などあらゆる商取引販売データの収集と活用を行う、「販売データプラットフォーム運営事業」を展開していきます。複合的に絡み合う商取引のビッグデータ、これらを所有し、分析・活用できるプラットフォームの運営を通して社会の発展に寄与します。

以上